



平成 28 年度 オリンピック・パラリンピック教育事業
推進校実施報告書

- 1 学校名 : あさぎり町立あさぎり中学校
- 2 実施日時 : 2017 (平成 29) 年 2 月 13 日 (月)
- 3 対象 : 1~3 年生 486 名
- 4 派遣パラリンピアン : 花岡伸和さん (車いすマラソン アテネ・ロンドンパラリンピック出場)

5 授業内容 : 講演

2017 (平成 29) 年 2 月 13 日にあさぎり町立あさぎり中学校にて、車いすマラソン選手として 2004 (平成 16) 年のアテネパラリンピックで 6 位に入賞、2012 (平成 24) 年のロンドンパラリンピックで 5 位に入賞されました花岡伸和さんによる講演が行われました。

講演ではまず、花岡さんが高校 3 年生のときにバイク事故で脊椎損傷となり、車いす生活になったときのことを話されました。事故にあったときのヘルメットを見せられたときの気持ちや、それまでは当たり前のようにできていたことが突然できなくなってしまうことなど、思い悩む日々が続いたということでした。そのような中で、たまたま病院に置いてあった資料を見て、車いすスポーツのことを知り、その中で“一番かっこいい”と思ったのが陸上競技だったと述べられていました。それをきっかけに車いすマラソンに取り組むようになったそうですが、現実にはそれほど甘くはなく、パラリンピックに出場するまでには 10 年かかったということでした。そして、初めて出場したパラリンピック (2004 年アテネ大会) では日本人最高の 6 位に入賞し、その後も順調に日本の車いすマラソン界を牽引していく存在になっていったそうですが、2008 (平成 20) 年の北京大会で日本代表から落選してしまったときは、「もうあきらめようかと思った」ということでした。しかし、「ここで逃げてしまえば、あのときの事故とまた同じようになってしまうのではないか」と自分自身を奮い立たせ、そして幼い息子に「自分がパラリンピックで走る姿を見せてあげたい」との強い思いから、もう一度パラリンピックにチャレンジすることを決意されたということでした。その結果、見事に 2012 (平成 24) 年のロンドンパラリンピックの出場権を獲得され、本番ではメダルを獲得することはできなかったものの、トップからわずか 6 秒差の 5 位に入賞されたということでした。

これらの経験を踏まえながら、自己肯定感について取りあげられ、「事故後初めて自分でごはんを食べたときも、初めてパラリンピックに出場したときも、そしてロンドンパラリンピックの出場権を獲得できたときも、自己肯定感が高められ、そして今の自分がある」と述べられ、このような積み重ねが、また次の目標に向かって進んでいく原動力になっていくことから、「(生徒の) みなさんも、ぜひ自己肯定感を高められるように頑張ってもらいたい」と生徒たちにメッセージを送られていました。

6 授業の様子



講演会場の様子



生徒たちに問いかける花岡さん



車いすマラソンを始めるきっかけ



生徒からの質問に耳を傾ける花岡さん



生徒たちと記念撮影